Slack APIを用いた既存WSの UTokyo Slackへの「移植」

2022年8月31日

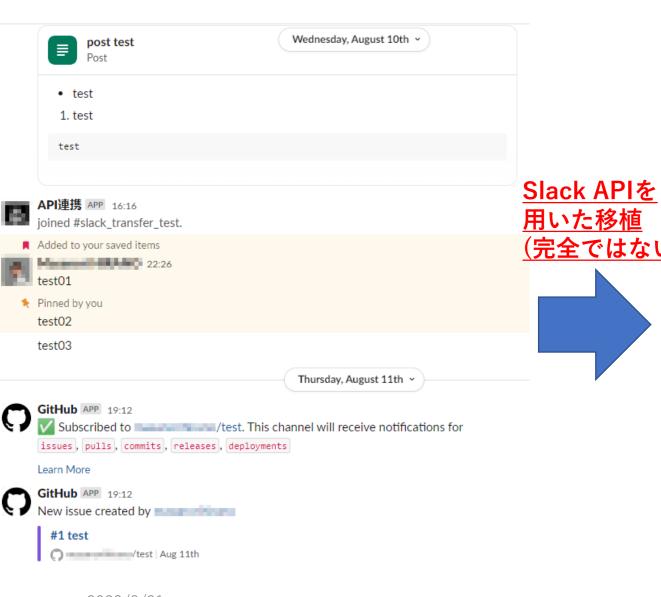
「編入」の限界

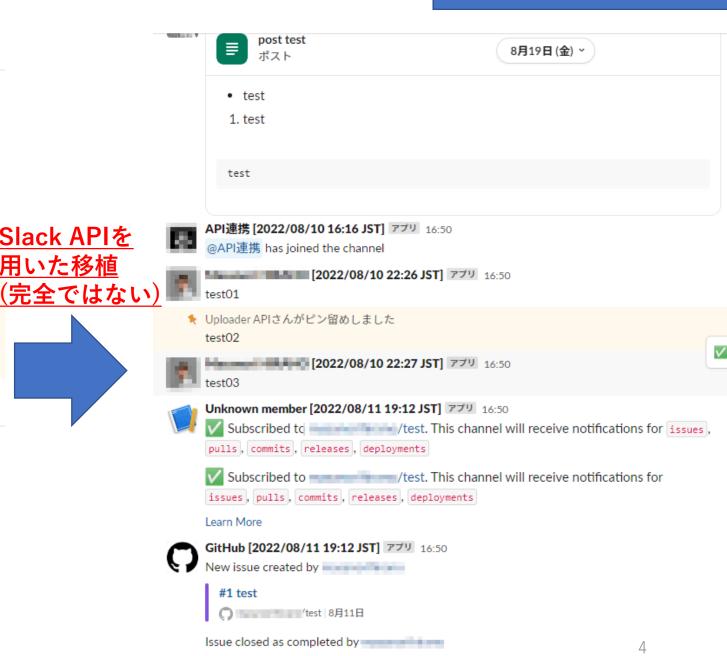
編入は比較的作業が楽ではあるが…

- 20WS/月 では何カ月待てばいいかわからない
- 自分たちのペースで移行ができない
- WSに参加している学外メンバーの排除が必須
 - 研究室では卒業生とのコミュニケーションに使用している場合も
- 既存のWSとの並行稼働ができない

Slack APIを用いた移植事例

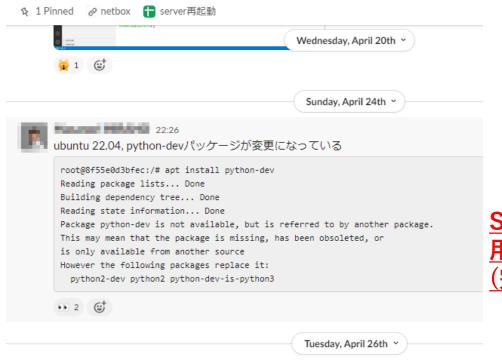
用いた移植





Original

※実際の移植ケース



Slack API & 用いた移植 (完全ではない)





23:11

vscode serverのhomeを(わりと無理やり)nfsに変更して永続化成功.

image.png •





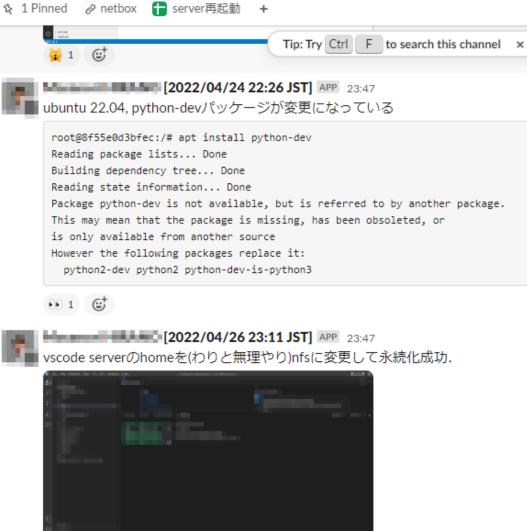




image.png 🔻

2022/8/31

[2022/04/26 23:11 JST] APP 23:47





Slack APIによる移植の長所・短所

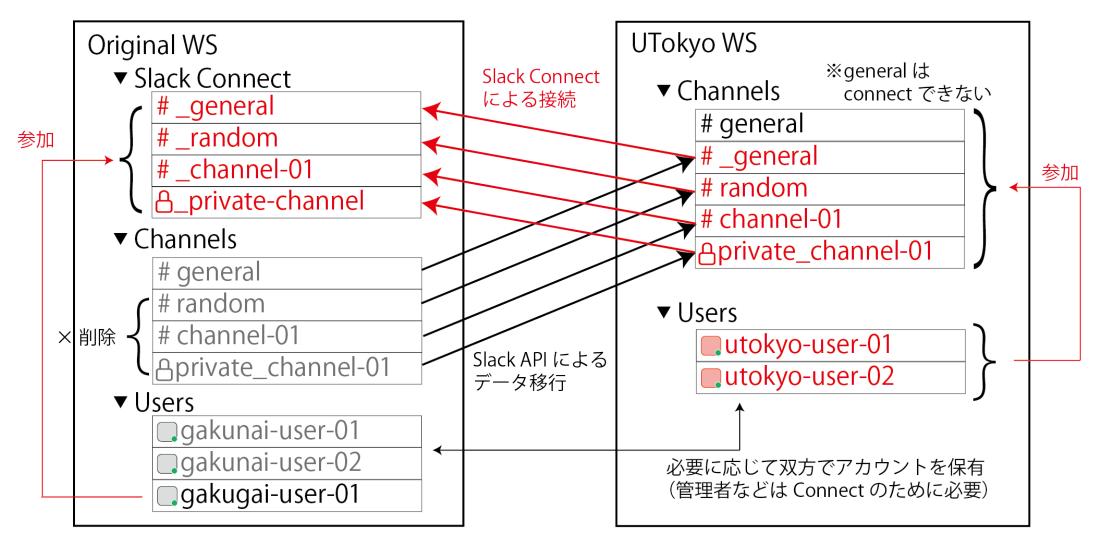
長所:

- ✓自分のペースで移植可能(場合によってはチャンネルごと)
- ✓これまでのWSと並行稼働可能 → Slack Connectで学外者も残せる
- ✔編入を真に必要なWSに譲れる
- ✓基本的な過去データの移植はできる

短所

- ▶作業時間がかかる(一般のテストWSを立てて事前テストを推奨)
- ➤DMは移植されない
- ▶APIの代理投稿になるため、完全な移植ではない
- ▶10MB以上のファイルの移植に失敗するなど、移植の完全性がない (Slack APIの設計上の限界や、Slack APIのbackendが不安定なため)

移植の全体像



Python パッケージ: slack_transfer

Githubで一般公開:

- https://github.com/masanorihirano/slack_transfer
- https://slack-transfer.readthedocs.io/en/stable/

特徴:

- Pythonベースのライブラリであるため、なじみやすい人が多い(はず)
 - pip install slack-transfer (pip installのみハイフンなので注意)
- Jupyter notebookの例も掲載 (いざとなればgoogle colabでも可)
- インタラクティブモード有り
- いざという時のwin/mac/linux向けbinaryビルド版(exe版)も公開
- (一応, class実装になっているので拡張・改造可能)
- OSSとして公開しているが、実質的に今回のユースケースを想定

slack_transferによる移植ケース①

ECCS相談員のWS: windows版binaryを使用

- ・作業時間: 10時間(事前テスト作業時間を除く)
- メッセージ: 21,469
- チャンネル数: 16
- ファイル・画像:588個 (計329MB)
 - 内, 43.6MBの動画1件のみアップロード失敗
 - 他は8.62MB以下のファイル

※実際に移植の対象になった部分のみの統計(DM等を除く)

現在はSlack Connectで旧WSに接続. これからユーザー移植.

slack_transferによる移植ケース②

某研究室のWS: mac版binaryおよびlinux版binaryを使用

- 作業時間: 8時間(slack botやappの再追加作業を含む;事前テスト作業時間を除く)
- メッセージ: 10,517
- チャンネル数: 31
- ファイル・画像:300個 (計649MB)
 - 内, 10件のファイルアップロードに失敗. 主に18MB~234MB
 - ~16MBのファイルは2件を除き概ね成功
- ※実際に移植の対象になった部分のみの統計(DM等を除く)

slack_transfer利用のすゝめ

Slack Pro Trialの温存と全データ移植

- Slack Pro Trialは最低でも4週間
- 未使用であれば使用可能, そうでないケースでも再度使えるケースも

テストWSでの実験

- UTokyo Slackとは別に、無料版のWSを作成して実験
- いつでも実験できる
- サードパーティーのアプリなどの影響で移植に失敗する可能性を防ぐ
- まずはSlack Pro Trialを使用せずに実験を推奨(bug fixに時間がかかる可能性)

slack_transfer利用者コミュニティ

アーリーアダプターの協力のお願い

- サードパーティーのアプリなどへの対応がまだ不完全
- エラーログの提供など協力をお願いしたい
- (githubへのissue/pull requestなどもOK)

コミュニティーによる相互協力と今後のアップデート

- Bug fixなどは引き続き継続
- <u>UTokyo Slackワークスペース運用情報交換の #slack_transfer-support</u>
 - 利用にあたっては利用者同士の相互協力をお願いしたい
 - Github issueと異なり、学内者に限られるので、エラーログなどの掲載への心理的ハードルが若干低くなることも想定
 - ※ 一部モデレーター的担当を配置する方向で調整中

最後に・・・

どれくらい使えるの?

- 過去ログを検索して使用するのであれば基本的に問題ない
- これまでに移植した2つのWSでは今のところ何もトラブル・クレームなし. (というか移植を意識しないレベル)

技術的に難しそう…

- 初期段階ではトラブルもあるのでお勧めはしませんがまずは下記へ UTokyo Slackワークスペース運用情報交換の #slack_transfer-support
- exe版やgoogle colab版は難しくないので、様子を見つつ検討を

2022/8/31

13